

平成18年1月度 販売電力量

1. 概況

1月度の販売電力量は77億81百万kWhとなり、前年に対し+10.1%と5か月連続で前年を上回った。

これは、冬季(12~3月)としては過去10年間で一番の伸び。

(1) 一般需要(販売電力量合計から大口電力を除いたもの)

12月から1月上旬の気温が前年に比べ低めに推移したことによる暖房需要の増加などから、前年に対し+11.1%と5か月連続で前年を上回った。

これは、冬季(12~3月)としては過去10年間で一番の伸び。

平均気温(九州7県平均)

	12月				1月			
	上旬	中旬	下旬	平均	上旬	中旬	下旬	平均
実績	7.8	4.7	5.4	6.0	5.1	8.8	7.4	7.1
前年差	4.6	7.5	2.8	4.8	1.0	2.9	0.4	0.7
平年差	2.0	3.9	2.3	2.7	2.1	2.3	1.3	0.6

(2) 大口電力需要

化学や電気機械などの主要業種が増加したことから、前年に対し+6.8%と25か月連続で前年を上回った。

2. 用途別実績

(千kWh, %)

		実績	前年比	年度累計 前年比	
特定規模 需要以外の 需要	電灯	3,163,924	110.6	103.6	
	電力	低圧	493,906	109.4	101.8
		その他	116,114	98.6	98.4
	電灯・電力計		3,773,944	110.0	103.1
特定規模 需要	業務用	1,634,205	116.7	105.9	
	産業用	2,373,236	106.0	103.5	
	特定規模需要計	4,007,441	110.1	104.4	
販売電力量合計		7,781,385	110.1	103.9	
(再掲)	一般需要	5,952,822	111.1	103.7	
	大口電力	1,828,563	106.8	104.3	

(注): 産業用電力には、その他電力を含む

3. 大口電力産業別実績

(千kWh, %)

		実績	前年比	年度累計 前年比
機 械	電気	449,701	105.1	103.1
	輸送用	90,716	104.4	106.1
	その他	37,575	111.5	110.5
	計	577,992	105.4	104.0
	鉄鋼	218,270	108.4	99.4
化学	199,694	119.3	109.4	
窯業土石	104,349	97.7	107.0	
(セメント)	68,085	91.4	106.6	
食料品	121,761	107.7	104.2	
パルプ・紙	35,907	115.0	106.1	
非鉄金属	89,114	112.7	108.3	
その他	481,476	103.7	103.9	
合計	1,828,563	106.8	104.3	

(参考) 電力各社別販売電力量(18年1月)

(百万kWh, %)

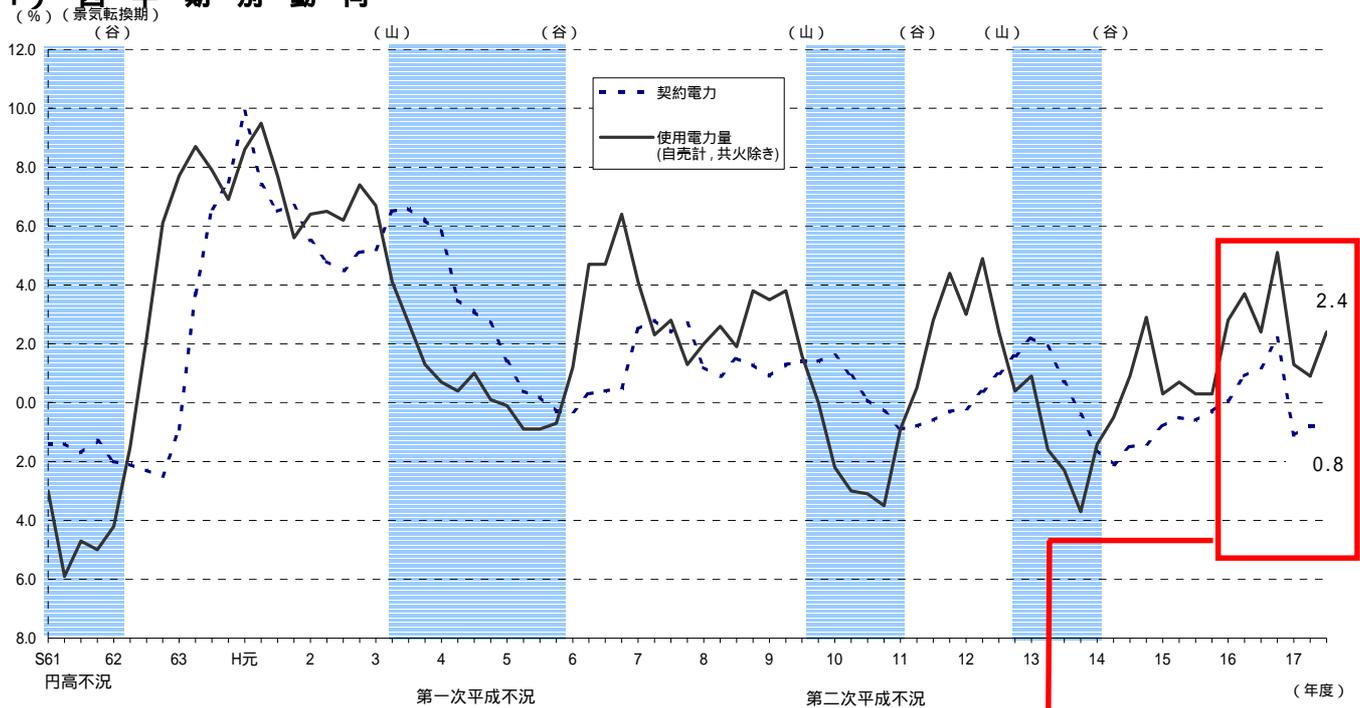
		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	合計	
実績	特定規模 需要以外の 需要	電灯	1,283	2,900	11,256	4,114	940	5,645	2,066	1,067	3,164	32,435
		電力	343	589	1,376	819	214	733	315	222	610	5,221
		電灯・電力計	1,626	3,489	12,632	4,933	1,154	6,378	2,381	1,289	3,774	37,656
	特定規模 需要	業務用	731	1,486	6,286	1,946	454	2,866	961	515	1,634	16,879
		産業用	774	2,925	8,240	5,148	1,139	4,447	2,218	831	2,373	28,095
特定規模需要計		1,505	4,411	14,527	7,094	1,593	7,313	3,179	1,346	4,007	44,975	
販売電力合計		3,131	7,900	27,158	12,027	2,747	13,691	5,560	2,635	7,781	82,630	
(再掲) 大口電力		453	2,175	6,618	4,040	887	3,544	1,818	639	1,829	22,003	
前年 比	特定規模 需要以外の 需要	電灯	102.7	110.2	120.8	109.7	114.2	111.3	112.0	111.9	110.6	113.8
		電力	111.8	119.5	118.1	105.8	122.8	101.6	105.3	107.2	107.1	110.9
		電灯・電力計	104.5	111.6	120.5	109.0	115.7	110.1	111.0	111.0	110.0	113.4
	特定規模 需要	業務用	105.1	108.3	105.6	112.3	106.7	108.6	114.0	104.1	116.7	108.5
		産業用	106.0	106.3	101.6	106.0	105.2	103.0	101.7	102.9	106.0	103.8
		特定規模需要計	105.6	107.0	103.3	107.7	105.6	105.1	105.1	103.3	110.1	105.5
	販売電力合計		105.0	109.0	110.6	108.2	109.6	107.4	107.6	107.0	110.1	108.9
(再掲) 大口電力		108.8	106.8	101.0	106.1	106.6	102.3	101.4	103.9	106.8	103.7	

(注) 1. 電気事業連合会統計委員会の資料による。当社以外は速報値。 2. 個々の数値と合計欄の数値は、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

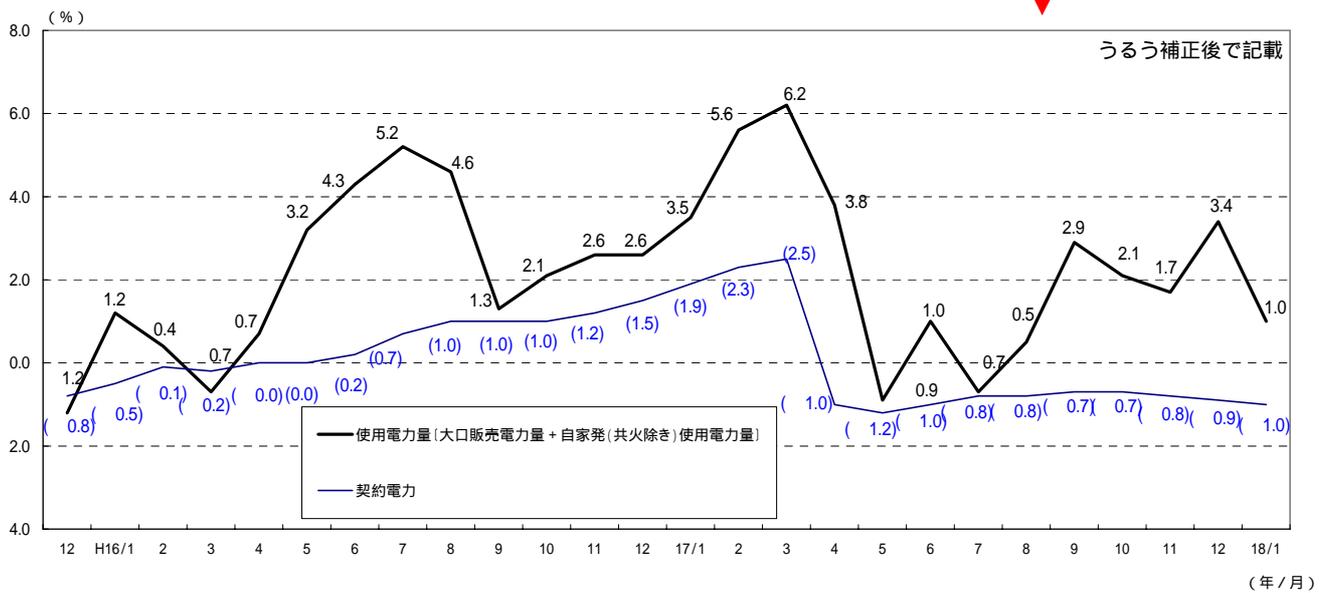
以上

大口電力の契約電力と使用電力量の推移（大口カーブ）

（1）四半期別動向



（2）月別動向



大口カーブは景気判断の物差しのひとつ

「使用電力量」は、契約電力500kW以上の産業用大口電力の販売電力量と、工場が独自に持っている自家発自家消費電力量を加えたもので、生産活動の活発さを反映している。

「契約電力」は、工場などの生産能力と、設備投資の動向を反映している。

経験則では、「使用電力量」の伸びが「契約電力」の伸びを上回るときは好況、逆の場合は不況である。2つのグラフが交差するときが、景気の転換点にほぼ一致している。

18年1月度は、使用電力量の伸びが契約電力の伸びを、22か月連続で上回った。

